

において識別装置

■機器の概要

において識別装置は、複合的な「において」成分を分離・識別・分類することができることから、「において」に係る商品企画や消費者のニーズ把握等に利用できます。また、「において」の観点からの消費期限設定や「において」に係るクレーム処理等の品質管理にも利用できます。

■活用事例の内容

活用例：7種類の花蜂蜜について、において識別分析により「において」の違いを数値化しました。

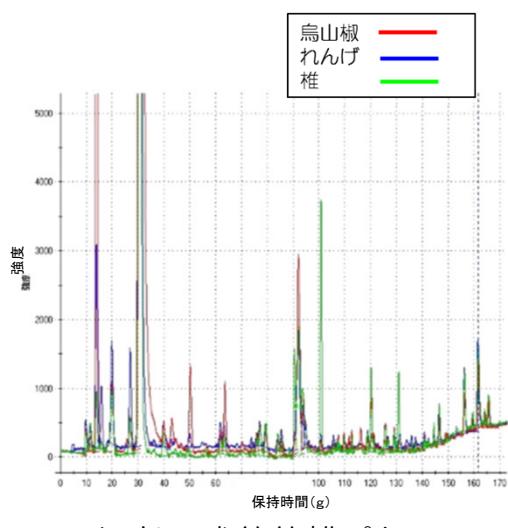
その結果、烏山椒蜂蜜や椎蜂蜜は、他の5つの蜂蜜とは「において」のバランスに大きな差があることを確認しました。



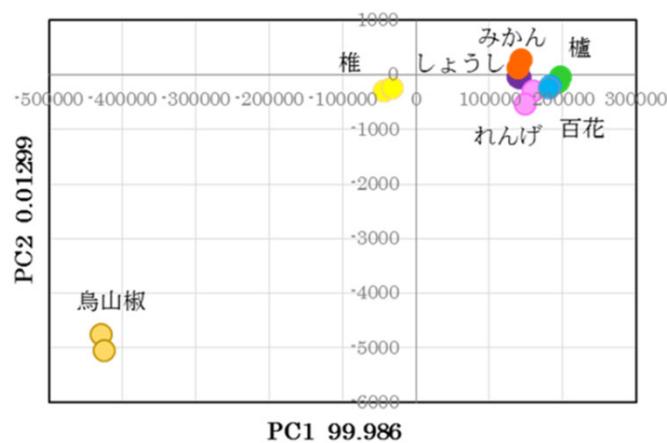
烏山椒の花



烏山椒蜂蜜



において成分分離パターン



花の違いによる蜂蜜の香りの
主成分分析結果

■仕様・留意事項

主な仕様

メーカー名：アルファー・モス・ジャパン（株）

型 式：フラッシュGCノーズ HERACLES II

仕 様：

①複合的な「において」の違いを分離・識別し、
主成分分析による分類が可能です。

②識別した「において」成分の同定及び定量が
可能です。

③試料間の類似性評価が可能です。



本機器は、「平成25年度補正予算事業 地域新産業創出基盤強化事業（中国地域）」により整備しました。